

ディレクター制度の(公財)日本スポーツ協会(JSPO)の公認スポーツ指導者への移行について

2019年1月4日

検討WG: 村越、高村、酒井、佐藤(記)

1. 制度移行の概要

JSPOの公認スポーツ指導者資格の改定が2020年4月に行われる。これに合わせ、当協会のディレクター1級(D1)、2級(D2)をそれぞれJSPO公認スポーツ指導者資格改定後のコーチ2((旧)上級指導者)、コーチ1((旧)指導者)へ移行させる。現資格から新資格への移行は2項記載の通りとし、新制度の施行はJSPOの制度移行に合わせ2020年4月とし、移行も同年度とする。

なお、現資格D1、D2は期間限定(2年程度)で存続させ、移行動向を踏まえ、その廃止を検討することとしたい。一方、インストラクターは、協会独自資格として存続とする。ただし、JSPOが予定するスタートコーチ制度の内容がはっきりした段階で同資格への移行の是非を改めて議論する可能性がある。

2. 現資格から新資格への移行

下記要件を満たすものは所定の申請書を提出し、登録料を納めることにより新資格を取得できる

1)ディレクター1級(D1)⇒コーチ2

ただし、2002年(平成14年)度のカリキュラム変更*を鑑み、以下の通りとする。

- ① 2001年度までのD1取得者: 旧課程D1コーチ2移行講習の受講・合格
- ② 2002年度以降のD1取得者: 移行講習不要

* 2001年度までの旧課程では「指導方法」がカリキュラムに含まれていないため。

2)ディレクター2級(D2)⇒コーチ1あるいは2

- ① コーチ2 2019年度中のD2講習受講・合格

* D2取得後の経過年数が十分でない場合、競技会参加・運営の経験を元に都道府県協会の推薦があれば受講可とする

- ② コーチ1 2019年度中のD2コーチ1移行講習の受講・合格

* 指導方法を中心に半日～1日程度の補講。D2カリキュラムでは「指導方法」の講習が不十分なため

3)インストラクター⇒コーチ1

2019年度中のD2講習受講・合格が必要

3. 登録料

コーチ1、コーチ2共通: 23,000円/4年(JSPO分: 13,000円、JOA分: 10,000円、※年額5,750円相当)

ディレクターから移行しない者: 5,000円/年

※ コーチの役割がボランティア的であること、および、他団体の同制度の登録料相場の2点を鑑み、現行制度から減額する設定。(協会運営費用は従来指導者登録費が主であったが、競技者登録費を主体とする方針へ変更することとしたい)

参考: 現行ディレクターの登録料

ディレクター1級 登録料8,000円/年

ディレクター2級 登録料6,000円/年

インストラクター 登録料5,000円/年 認定料はいずれも5000円(初回登録時)

4. 講習計画

1) D1、D2講習会（過年度と同等）

時間：1泊2日＋レポート 同時開催だが内容は異なる（一部共通科目あり。要求達成レベルに差あり）

開催時期・回数：2019年度に1回

2) 移行講習会（旧課程D1、および、D2）

対象：D1（資格取得：2001年まで）でコーチ2移行を希望する者

D2でコーチ1移行を希望する者

時間：3－5時間程度

費用：4000円／人

開催時期・回数：19年5月から20年2月までに3－4回

5. 新制度カリキュラムWG

普及教育委員会の下にカリキュラムWGを組織しその任にあたる。

メンバー候補：委員：小泉、吉田、松澤、朴峠、監修：村越 事務局：酒井、佐藤

任務：

① カリキュラムの目次作成、教科書執筆（2020年3月発刊を予定）

* 内容については、コーチ1、2それぞれの期待される役割を鑑み、既カリキュラム、他団体カリキュラム、共通科目を考慮して策定し、関係するナビゲーションスポーツ（ロゲイニング、ラビリンスO等にも触れるものとする。

参考 専門科目の講習は集合研修が20hが他団体の最小。これに加え、共通科目の講習が別途必要

② 移行講習会の講師

6. 今後の日程(案)

1月 業務執行理事会でのご審議・骨子ご了解

⇒カリキュラムWG候補者への打診開始

⇒JOAニュースへの移行計画構想の掲載

2月 理事会での審議・承認

①新制度概要（現制度との対応関係）、登録料、移行方法、講習計画

②カリキュラムWG

（案：佐藤、酒井、吉田、小泉、松澤、法峠、監修：村越）

5月 総会でご説明

8月 JSPOへ申請（新制度の規程、カリキュラム、移行計画 等）

7. 普及教育委員会の改組

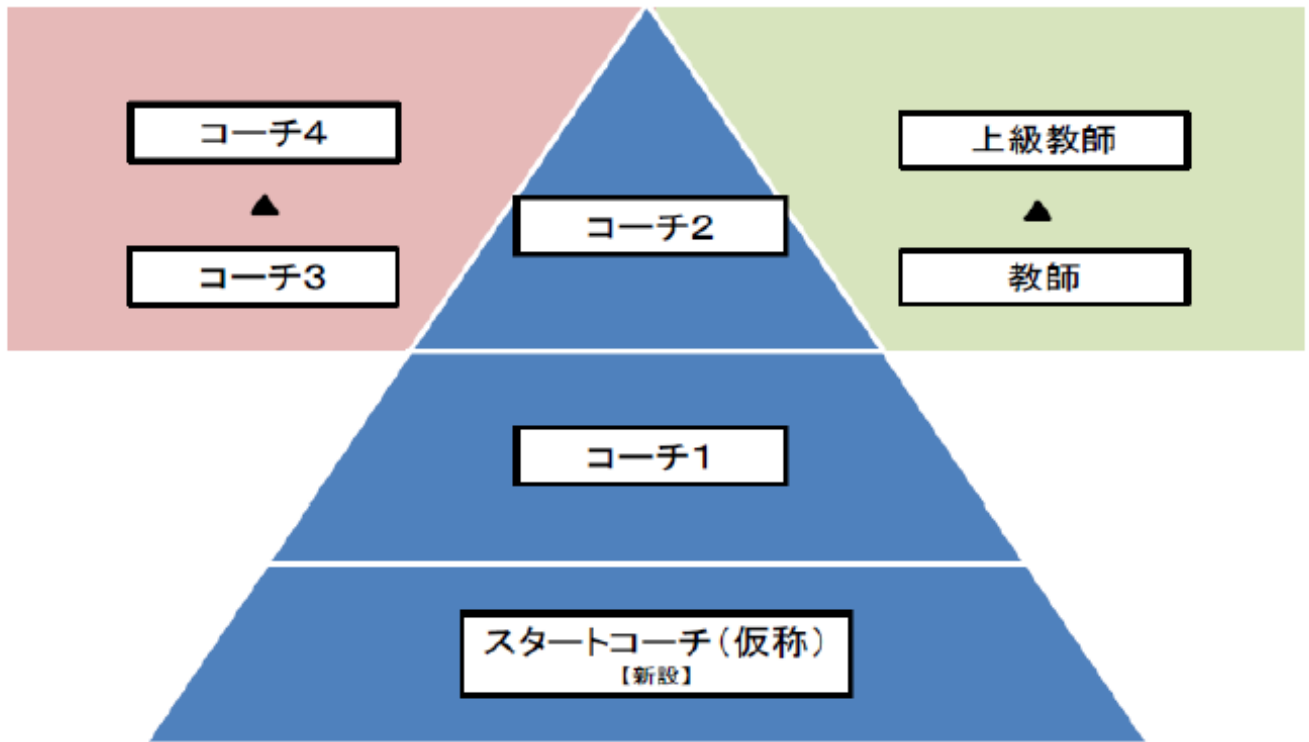
本指導者制度の移行に伴い、2019年度より、普及教育委員会は、指導委員会 と名称変更し、

その主たる任務を同指導者制度の専門科目講習会の運営とし、講師WGと運用WGを組織する方向としたい。

なお、従来担当領域とされてきた普及は、その概念が広いため、協会全体でその活動を担うものと捉え、その実現手段に応じて、担当部門を決定することをコンセンサスとさせていただきたい。

上記をご了解いただける場合、ナビゲーションインストラクター制度を所管する資格委員会は、その担当がナビゲーションインストラクターに限らことを明確にするため、ナビゲーションインストラクター委員会とすることも検討願いたく。

以上



新制度におけるコーチ1, 2要件

JSPO資格

コーチ2:(旧上級指導員)

オリエンテーリング競技の専門知識・技能及び指導力を活かし、指導者の育成指導を行うと共に中心的役割を担って地域クラブの育成等の指導ができる

また、より広いエリア(県及びブロック)を対象とし、レベルに応じた競技指導ができる

コーチ1(旧指導員)

オリエンテーリング競技の専門知識・技能及び指導力を活かし、地域クラブの教室等に於いて主に初心者を対象とした指導ができる

独自資格

インストラクター

一般活動者に対してナビゲーション・読図の指導ができる。

ナビゲーションインストラクター

初級者に対してオリエンテーリングの基礎的技能の指導ができる
(OL 基礎、OL 特性、指導の基礎理論、走力・体力の指導)

現制度のディレクタ要件

ディレクター1級 100人程度の規模の大会を企画・運営ができるとともに、地域クラブ等での技術的・運営面での指導ができる(運営、指導、コースプラン、安全)

ディレクター2級 練習会等限定された参加者に対する指導場面の企画・運営ができる(規則、指導法、コースプラン、安全)

インストラクター 初級者に対してオリエンテーリングの基礎的技能の指導ができる(OL 基礎、OL 特性、指導の基礎理論、走力・体力の指導)

コントローラー 大会が競技規則に乗っ取っているかどうかのチェックができる。

新制度における競技別指導者資格の概要(案)

No.	資格名称		スタートコーチ（仮称） （新設）	コーチ 1	コーチ 2	コーチ 3	コーチ 4	教師	上級教師	備考
1	認定者		日体協競技団体							スタートコーチ（仮称）についても協同認定資格とする。
2	受講科目	共通科目	共通〔スタートコーチ（仮称）用〕	共通Ⅰ	共通Ⅱ	共通Ⅲ	共通Ⅳ	共通Ⅲ	共通Ⅳ	
		専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	専門科目	
3	想定指導対象像		すべてのプレーヤー（幼児期・児童期の子どもから、中高年の愛好者・健康志向者、競技者を含むスポーツ実施者全体を指す） ※指導対象の競技技能レベルや年齢等については、各専門科目実施団体において定める。							
4	受講条件 （全て満たすこと）		・受講年度の4月1日現在で満18歳以上の者	・受講年度の4月1日現在で満20歳以上の者	・受講年度の4月1日現在で満20歳以上の者 ・専門科目実施団体が認めた者	・受講年度の4月1日現在で満22歳以上の者 ・コーチ 3 資格保有者 ・専門科目実施団体が認めた者	・受講年度の4月1日現在で満20歳以上の者 ・専門科目実施団体が認めた者	・受講年度の4月1日現在で満22歳以上の者 ・教師資格保有者 ・専門科目実施団体が認めた者	・その他の条件については専門科目実施団体が設定。 ・コーチ 4 はコーチ 3 資格の保有を、上級教師は教師資格の保有を必須とする。	
5	想定受講者像		・指導者としての知識・技能を少しでも身に付けておきたい方	・スタートコーチ（仮称）資格保有者・保護者・教員・ボランティア等で、コーチングを学びたい方	・コーチ 1 資格保有者 ・『6. 資格取得後の役割』を現在担っている、または今後担う意思がある方	・コーチ 2 資格保有者 ・『6. 資格取得後の役割』を現在担っている、または今後担う意思がある方	・コーチ 3 資格保有者で、『6. 資格取得後の役割』を現在担っている、または今後担う意思がある方 ・『6. 資格取得後の役割』を現在担っている、または今後担う意思がある方	・コーチ 2 資格保有者 ・『6. 資格取得後の役割』を現在担っている、または今後担う意思がある方		
			※受講者自身の競技経験や指導経験を加味するか否かは、競技特性などがあり一律に定めることがそぐわないため、各専門科目実施団体が決定する。							
6	資格取得後の役割（講習内容を踏まえた指導領域や役割）		・地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等でのコーチングアシスタント（指導補助） ・上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する	・地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等でのコーチングスタッフ ・基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する	・地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等の監督・ヘッドコーチ ・責任者として安全で効果的な活動を提供し、指導計画を構築・実行・評価し監督する ・コーチ間の関わり・成長を支援する	・ブロック～全国大会レベルの競技者・チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う ・トップリーグ、実業団のコーチングアシスタント（指導補助）	・国際大会レベルの競技者・チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う ・トップリーグ、実業団のコーチングスタッフ ・ナショナルチームのコーチングスタッフ	・商業・民間スポーツ施設等で幅広い年齢層の多様なスポーツライフスタイルを志向する会員や利用者に応じたコーチング ・クラブや商業・民間スポーツ施設の日常運営業務にあたる	・商業・民間スポーツ施設等における実技指導の責任者・チーフ ・クラブや商業・民間スポーツ施設の企画経営業務にあたる	・ブロックレベル以上の大会に参加するコーチは、コーチ 3 以上の資格取得を推奨する。 ・大会参加資格は各大会の定めによる。
			※資格取得者の指導現場、指導対象者の活動目的に応じて、所属先および競技団体等の関係者と相談の上決定していくものであり、あくまで指標・目安として示すものである。							
7	共通科目受講で得られるコンピテンス（他者との関わりの中で習得され、発揮される能力）		・スポーツの意義と価値の理解	・共通科目〔スタートコーチ（仮称）用〕で得られるコンピテンス	・共通科目Ⅰで得られるコンピテンス・所属先・保護者・コーチ間の信頼関係構築	・共通科目Ⅱまでで得られるコンピテンス	・海外での活動、国際大会への準備と管理	・共通科目Ⅱまでで得られるコンピテンス	・講習内容の基準になるものであると同時に資格認定時の評価基準も兼ねるものである。 ・共通科目を学ぶ受講者が得られるコンピテンス。	
			・スポーツ・インテグリティの理解	・倫理的な指導・コミュニケーション	・指導対象者のスポーツライフのデザインを念頭に置いた指導力	・コンディショニングスタッフとの信頼関係構築	・指導対象へのスポーツ・インテグリティ教育	・商業・民間スポーツ施設経営者との信頼関係構築		
			・倫理的な指導・コミュニケーションの理解（暴力行為根絶に向けた取組の理解）	・プレーヤーの安全管理	・指導対象自身が自らスポーツライフをデザインできるよう促す指導力	・一般社会・メディアとの関係構築	・スポーツライフをデザインできる指導者を育成・指導	・指導対象者自身が自らスポーツライフをデザインできるよう促す指導力		
			・プレーヤーの安全管理	・指導対象との信頼関係構築 ・スポーツライフのデザインに係る基礎的理解						
8	専門科目受講で得られると想定されるコンピテンス		・当該競技の魅力を知る	・競技特性、技術構造等当該競技への基礎的理解 ・日々の活動（練習・試合）を実施するための指導力	・当該競技への基礎的理解を踏まえた指導力 ・指導計画に関するビジョンと戦略の設定 ・指導に適した環境整備（クラブ／チームのマネジメント）	・当該競技の全体像を踏まえた指導力 ・指導に適した環境整備	・当該競技を発展させることが出来る指導力 ・海外での活動、国際大会への準備と管理（競技特性を踏まえる）	・当該競技の全体像と指導対象のニーズを踏まえた指導力 ・基本的なホスピタリティ ・クラブや商業・民間スポーツ施設運営の基礎的知識	・当該競技の全体像と指導対象のニーズを踏まえた指導力 ・クラブや施設経営のビジョンと戦略の設定、健全な経営能力	

競技別資格 専門科目区分(案)

資料No.4

専門科目	スタートコーチ（仮称）	コーチ 1	コーチ 2	コーチ 3	コーチ 4
				教師	上級教師
カリキュラム 時間数 （集合＆自宅）	4h以上	コーチ1 20h以上	コーチ2 40h以上	コーチ3／教師 60h以上	コーチ4／上級教師 80h以上
		コーチ1:20h以上	コーチ2:40h以上	コーチ3:80h以上	コーチ2:40h以上
		コーチ1:20h以上	コーチ2:40h以上	コーチ3:80h以上	コーチ1:20h以上
		コーチ1:20h以上	コーチ2:40h以上	コーチ3:80h以上	コーチ1:20h以上
単独時間数	4h以上	20h以上	40h以上	60h以上	80h以上
集合講習日数	4h以上	NFに委ねる			
自宅学習	カリキュラムおよび集合講習の時間数による				

共通科目区分(案)

資料No.5

共通科目	スタートコーチ (仮称) 【競技別資格】	共通 I	共通 II	共通 III	共通IV
カリキュラム 時間数 (集合 & 自宅)	15h	共通 I : 45h	共通 II : 135h	共通 III : 150h	共通IV : 151h以上 NCA※との連携を 念頭においた 独自カリキュラム
単独時間数	15h	45h	135h	150h	151h以上
集合講習日数	3h (NFが実施)	通信講座	3日程度	3日程度	3日程度
自宅学習	12h	45h	集合講習の時間数による	集合講習の時間数による	集合講習の時間数による

※NCA : JOCナショナルコーチアカデミー

公認スポーツ指導者登録料(4年分)一覧

2018年4月1日登録から適用

競技(種別)名	基本登録料	資格別登録料			
		指導員／上級指導員	コーチ／上級コーチ	教師／上級教師	
陸上競技	10,000円	4,000円	4,000円	—	
水泳		10,000円	10,000円	10,000円	
サッカー	—	※	※	—	
スキー	10,000円	0円	0円	0円	
テニス		5,000円	10,000円	10,000円	
ボート		2,000円	2,000円	—	
ホッケー		4,000円	4,000円	—	
ボクシング		0円	0円	—	
バレーボール		0円	0円	—	
体操		0円	体操競技	0円	—
			新体操	0円	
			トランポリン	0円	
バスケットボール	—	※	※	—	
スケート	10,000円	0円	0円	10,000円	
レスリング		0円	0円	—	
セーリング		0円	0円	—	
ウエイトリフティング		5,000円	10,000円	—	
ハンドボール		0円	0円	—	
自転車競技		4,000円	4,000円	—	
ソフトテニス		0円	0円	—	
卓球		5,000円	10,000円	—	
軟式野球		0円	2,000円	—	
相撲		2,000円	2,000円	—	
馬術		10,000円	15,000円	15,000円	—
柔道			0円	0円	—
ソフトボール			10,000円	10,000円	—
フェンシング			5,000円	5,000円	—
バドミントン	4,000円		6,000円	—	
弓道	0円		0円	—	
ライフル射撃	0円		0円	—	
剣道	0円		—	—	
近代五種	2,000円		2,000円	—	
ラグビーフットボール	0円		0円	—	
山岳・スポーツクライミング	山岳		2,000円	2,000円	—
	スポーツクライミング		2,000円	2,000円	—
カヌー	0円		0円	—	
アーチェリー	5,000円		5,000円	—	
空手道	8,000円		8,000円	—	
アイスホッケー	10,000円		10,000円	—	
銃剣道	4,000円		4,000円	—	
クレー射撃	10,000円		0円	—	
なぎなた	0円		0円	—	
ボウリング	4,000円		4,000円	4,000円	
ボブスレー・リュージュ・スkeleton	—		0円	—	
綱引	5,000円		—	—	
ゲートボール	0円		—	—	
ゴルフ	0円		—	—	
カーリング	1,000円		1,000円	—	
パワーリフティング	6,000円		—	—	
グラウンド・ゴルフ	0円		—	—	
トライアスロン	10,000円		—	—	
バウンドテニス	0円		—	—	
エアロビク	10,000円		10,000円	10,000円	
バイアスロン	2,000円		2,000円	—	
ドッジボール	12,000円		—	—	
チアリーディング	5,000円		5,000円	—	
プロゴルフ	—		—	0円	
プロテニス	—		—	0円	
プロスキー	—		—	0円	
スクーバ・ダイビング	10,000円		—	—	
ローラースポーツ	0円		—	—	
ダンススポーツ	0円		0円	—	
アメリカンフットボール	0円		0円	—	